



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 ギークス株式会社 上場取引所 東
コード番号 7060 URL <https://geechs.com>
代表者(役職名) 代表取締役CEO (氏名) 曾根原稔人
問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 佐久間大輔 (TEL) 050-1741-6928
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,945	68.7	100	—	29	—	27	—	4	—
2023年3月期第1四半期	3,524	10.5	—	—	△119	—	△118	—	△96	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 88百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 △89百万円(—%)

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額+株式報酬費用

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 0.46	円 銭 0.45
2023年3月期第1四半期	△9.16	—

(注) 2023年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	8,967	4,692	47.8
2023年3月期	8,999	4,687	47.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 4,284百万円 2023年3月期 4,295百万円

(注) 当第1四半期連結会計期間において、企業連結に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度に係る各数値においては、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	75.0	900	38.2	700	18.8	680	19.7	360	47.4	34.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	10,322,629株	2023年3月期	10,604,880株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	一株	2023年3月期	301,451株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	10,316,511株	2023年3月期1Q	10,524,689株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、2023年1月16日(みなし取得日2023年1月1日)に行われたLaunch Group Holdings Pty Ltdとの企業結合において、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間に確定したため、前連結会計年度との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いています。

(1) 経営成績の状況

当社グループはグランドビジョンに「21世紀で最も感動を与えた会社になる」を掲げ、ITフリーランスのデータベース、グローバルで活躍するITエンジニア育成など人材インフラを活かし、インターネットの普及によりめまぐるしく変化する人々の生活や企業の行動を積極的に捉え、変化対応力を強みに、提供サービスの創造・進化を通じて常に成長し続けることで、永続的な企業価値向上を目指しております。当社グループは子会社6社を含む全5事業で構成されており、各事業セグメントは「IT人材事業(国内)」、「IT人材事業(海外)」、「G2 Studios事業」、「Seed Tech事業」、「その他」の5つに分類されております。

なお、当第1四半期連結会計期間より、セグメント区分を変更しており、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数字で比較分析しております。

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う人流の増加等により、緩やかな回復の動きが見られました。一方で、世界的な金融引締めや物価上昇等によって景気の先行きが不透明な状態が続いております。

ウィズコロナの新たな段階へ移行が進む中、IT技術を活用した取り組みやデジタルトランスフォーメーションの推進によって、IT人材や個人のITスキル強化のニーズはますます高まっていると認識しております。

このような状況下、当社グループは、2021年5月14日開示の中期経営計画「G100」(2022年3月期～2025年3月期)で掲げた方針に基づき、各種施策に継続的に取り組んでまいりました。

技術リソースのシェアリングやIT人材育成サービス等によって、日本のIT人材不足を解決する会社となるべく事業体制を構築してまいりました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,945,647千円(前年同期比68.7%増)、営業利益は29,235千円(前年同期は営業損失119,534千円)、経常利益は27,989千円(前年同期は経常損失118,098千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,708千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失96,358千円)となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

<IT人材事業(国内)>

IT人材事業(国内)におきましては、引き続き顧客企業からの需要は高く、受注単価も大きく上昇いたしました。また、前連結会計年度より継続して行っているブランディング広告への投資の効果もあり、新規取引企業数も好調に増加しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は3,460,652千円(前期比14.8%増)、セグメント利益は282,780千円(同1.8%増)となりました。

<IT人材事業(海外)>

IT人材事業(海外)におきましては、2023年1月16日(みなし取得日2023年1月1日)より連結子会社とした豪州でIT人材サービス事業を行うLaunch Group Holdings Pty Ltdの損益計算書が連結対象となり業績に織り込んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は1,840,012千円、セグメント損失は21,735千円となりました。

<G2 Studios事業>

G2 Studios事業におきましては、株式会社バンダイナムコオンラインが配信する「アイドリッシュセブン」や株式会社バンダイナムコエンターテインメントが配信する「僕のヒーローアカデミア ULTRA IMPACT」等の6本のタイトルの運営と、2本のタイトルの新規開発を行っております。フリーランスを活用し、開発状況に合わせた適切なリソースコントロールに注力しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は561,645千円（前期比27.0%増）、セグメント損失は74,500千円（前年同期はセグメント損失246,666千円）となりました。

<Seed Tech事業>

Seed Tech事業におきましては、日本とフィリピンに拠点を構え、拠点間の強固な連携でIT人材の育成を軸にした事業展開を行っております。SaaS型DX/IT人材育成サービス「ソダテク」の提供や、フィリピンセブ島へのIT留学事業、オフショア開発受託事業を行っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は52,787千円（前期比104.5%増）、セグメント損失9,717千円（前期はセグメント損失36,715千円）となりました。

<その他>

その他の事業におきましては、ギークス㈱のx-Tech事業が属しており、ゴルフ等のスポーツ領域を中心としたデジタルマーケティング支援やD2C支援を行っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は33,190千円（前期比24.3%減）、セグメント利益は3,993千円（前期比68.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産の残高は前連結会計年度末と比較して72,182千円減少し、6,337,133千円となりました。これは主に売掛金及び契約資産が93,867千円増加した一方で、現金及び預金が190,323千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産の残高は前連結会計年度末と比較して40,629千円増加し、2,630,692千円となりました。これは主にのれんが17,238千円、顧客関連資産が21,582千円減少した一方で、投資有価証券が116,424千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債の残高は前連結会計年度末と比較して38,529千円増加し、2,415,474千円となりました。これは主に未払法人税等が81,965千円減少した一方で、未払費用が68,568千円、預り金が43,930千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債の残高は前連結会計年度末と比較して74,672千円減少し、1,860,275千円となりました。これは主にリース債務が21,766千円、長期借入金が43,002千円、繰延税金負債が10,224千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の残高は前連結会計年度末と比較して4,589千円増加し、4,692,075千円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が80,774千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,755,033	3,564,710
売掛金及び契約資産	2,475,031	2,568,899
仕掛品	4,139	2,806
貯蔵品	340	336
前渡金	11,274	7,781
前払費用	80,420	112,046
その他	97,429	96,724
貸倒引当金	△14,354	△16,172
流動資産合計	6,409,315	6,337,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,205	10,881
車両運搬具（純額）	805	748
工具、器具及び備品（純額）	9,695	9,017
リース資産（純額）	105,095	90,576
有形固定資産合計	126,800	111,223
無形固定資産		
のれん	944,794	927,556
顧客関連資産	1,182,894	1,161,311
その他	2,316	3,032
無形固定資産合計	2,130,006	2,091,899
投資その他の資産		
投資有価証券	80,425	196,849
敷金及び保証金	126,595	126,812
長期前払費用	2,212	2,282
繰延税金資産	30,591	13,529
その他	93,431	88,096
投資その他の資産合計	333,256	427,569
固定資産合計	2,590,063	2,630,692
資産合計	8,999,379	8,967,826

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,139,927	1,160,638
未払金	250,135	239,520
未払費用	223,910	292,478
未払法人税等	193,675	111,710
未払消費税等	227,814	194,723
預り金	68,901	112,831
契約負債	23,675	28,810
リース債務	54,009	69,428
一年以内返済長期借入金	172,008	172,008
その他	22,887	33,324
流動負債合計	2,376,945	2,415,474
固定負債		
リース債務	121,996	100,230
長期借入金	1,504,990	1,461,988
繰延税金負債	300,654	290,429
資産除去債務	3,949	3,953
その他	3,357	3,674
固定負債合計	1,934,947	1,860,275
負債合計	4,311,892	4,275,750
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,109,972	1,111,532
資本剰余金	1,059,915	1,061,475
利益剰余金	2,453,772	2,034,262
自己株式	△321,184	-
株主資本合計	4,302,476	4,207,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,348	88,123
為替換算調整勘定	△13,938	△10,780
その他の包括利益累計額合計	△6,589	77,343
新株予約権	71,007	86,074
非支配株主持分	320,591	321,386
純資産合計	4,687,486	4,692,075
負債純資産合計	8,999,379	8,967,826

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,524,255	5,945,647
売上原価	3,105,910	4,901,998
売上総利益	418,344	1,043,649
販売費及び一般管理費	537,879	1,014,414
営業利益又は営業損失(△)	△119,534	29,235
営業外収益		
受取利息	0	761
受取賃貸料	-	1,655
投資有価証券売却益	-	999
為替差益	1,457	-
その他	281	150
営業外収益合計	1,739	3,567
営業外費用		
支払利息	23	4,738
為替差損	-	74
コミットメントフィー	279	-
営業外費用合計	303	4,813
経常利益又は経常損失(△)	△118,098	27,989
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△118,098	27,989
法人税、住民税及び事業税	59,909	51,701
法人税等調整額	△81,655	△28,895
法人税等合計	△21,746	22,806
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△96,352	5,182
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	473
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△96,358	4,708

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△96,352	5,182
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,348	80,774
為替換算調整勘定	△599	3,478
その他の包括利益合計	6,749	84,253
四半期包括利益	△89,602	89,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△89,608	88,641
非支配株主に係る四半期包括利益	6	794

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年4月25日開催の取締役会決議に基づき、2023年5月31日付で、自己株式301,451株の消却を実施しております。この結果、当第1四半期連結会累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ321,184千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間より、管理区分を見直したことにより、従来の「ゲーム事業」から「G2 Studios事業」へとセグメントの名称を変更し、ゴルフ等のスポーツ領域を中心としたデジタルマーケティング支援やD2C支援を行う事業について、従来の「x-Tech事業」から「その他」へ区分を変更しております。

また、Launch Group Holdings Pty Ltdを連結子会社化したことに伴い、報告セグメントを「IT人材事業（国内）」、「G2 Studios事業」、「Seed Tech事業」の3区分から、「IT人材事業（国内）」、「IT人材事業（海外）」、「G2 Studios事業」、「Seed Tech事業」の4区分へと変更し、記載順序を変更しております。これに伴い、前第1四半期連結累計期間の報告セグメントの名称及び記載順序を同様に変更しております。

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益計 算書 (注3)
	IT人材 事業 (国内)	IT人材 事業 (海外)	G2 Studios 事業	Seed Tech 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	3,014,968	-	442,355	23,074	3,480,397	43,857	3,524,255	-	3,524,255
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	2,739	2,739	-	2,739	△2,739	-
計	3,014,968	-	442,355	25,813	3,483,136	43,857	3,526,994	△2,739	3,524,255
セグメント利益 又は損失(△)	277,694	-	△246,666	△36,715	△5,687	12,683	6,996	△126,530	△119,534

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギークス株のx-Tech事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△126,530千円には各報告セグメントに配分していない全社費用△135,830千円及びセグメント間消去取引9,300千円が含まれております。
- 3 セグメント利益又は損失の合計額と調整額の合計は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 主要な地域別の売上高に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計
	IT人材 事業 (国内)	IT人材 事業 (海外)	G2 Studios 事業	Seed Tech 事業	計		
売上高							
国内(日本)	3,014,968	-	442,355	23,034	3,480,358	43,857	3,524,215
その他	-	-	-	39	39	-	39
外部顧客への売上高	3,014,968	-	442,355	23,074	3,480,397	43,857	3,524,255

(注) 外部顧客への売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益計 算書 (注3)
	IT人材 事業 (国内)	IT人材 事業 (海外)	G2 Studios 事業	Seed Tech 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	3,460,652	1,840,012	561,645	50,147	5,912,457	33,190	5,945,647	-	5,945,647
セグメント間 の内部 売上高又は振 替高	-	-	-	2,640	2,640	-	2,640	△2,640	-
計	3,460,652	1,840,012	561,645	52,787	5,915,097	33,190	5,948,287	△2,640	5,945,647
セグメント利益 又は損失(△)	282,780	△21,735	△74,500	△9,717	176,827	3,993	180,821	△151,586	29,235

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギークス㈱のx-Tech事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△151,586千円には各報告セグメントに配分していない全社費用△164,186千円及びセグメント間消去取引12,600千円が含まれております。
- 3 セグメント利益又は損失の合計額と調整額の合計は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 主要な地域別の売上高に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計
	IT人材 事業 (国内)	IT人材 事業 (海外)	G2 Studios 事業	Seed Tech 事業	計		
売上高							
国内(日本)	3,460,652	-	561,645	50,147	4,072,444	33,190	4,105,635
豪州	-	1,840,012	-	-	1,840,012	-	1,840,012
外部顧客への売上高	3,460,652	1,840,012	561,645	50,147	5,912,457	33,190	5,945,647

(注) 外部顧客への売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2023年1月16日に行われた、Launch Group Holdings Pty Ltdとの企業結合について、前第4四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行ってまいりましたが、当第1四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額は1,524,413千円から579,618千円減少し、944,794千円となっております。

また、前連結会計年度末における繰延税金資産は55,833千円減少し、顧客関連資産は1,182,894千円、繰延税金負債は299,034千円、非支配株主持分は248,407千円それぞれ増加しております。

なお、のれん及び顧客関連資産は13年間にわたる均等償却を予定しております。